## 第15回 漢方相談員養成講座

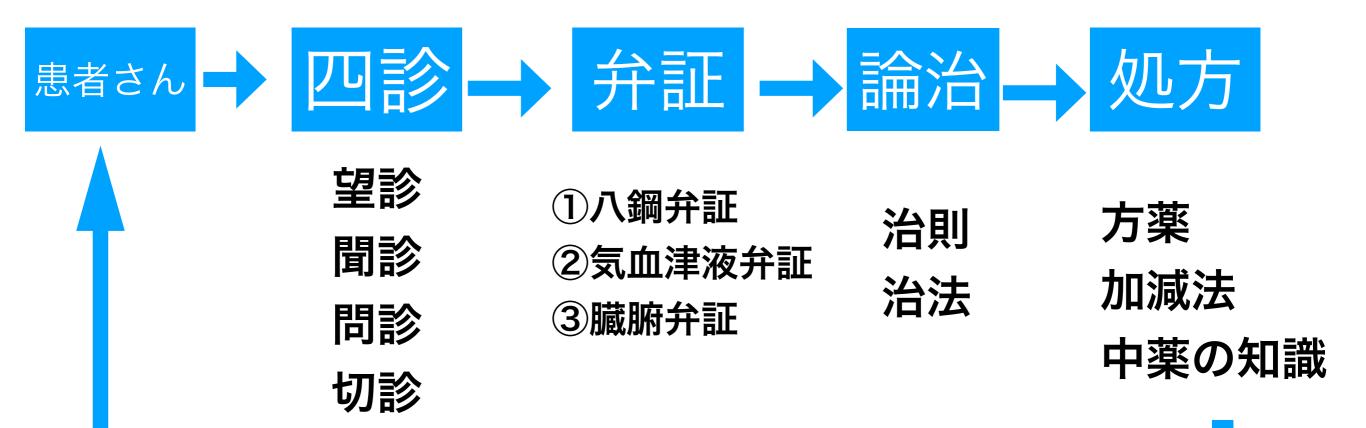


5月10日(月)リアル開催 5月11日(火)zoom開催

19:30~20:30

弁証論治 その① 八綱弁証 はちこうべんしょう

### 四診を合わせて適切な漢方薬を!



### 八綱弁証 はちこうべんしょう とは

四診で得られた情報を分析し、陰・陽・表・裏・寒・熱・虚・実 の八つの症候に分類する方法

虚 陰 寒 裏 陽 熱 表 実

疾病の類型

疾病の部位

疾病の性質

正邪の盛衰

## 表裏弁証①表証 ひょうしょう

六淫の邪が皮毛や口鼻から人体に侵入することによって生じる。外感病の初期段階 にみられる症候。

#### 【病因病機】

六淫の邪(風・寒・暑・湿・燥・火)が人体を侵襲する。

#### 【症状】

発熱・悪寒(悪風)・苔薄白・脈浮+頭痛・身体痛・鼻塞・鼻水・咳嗽



### 表裏弁証②裏証りしょう

人体深部(五臓の気・血・津液)の病変を反映する証候

【病因病機】

外感病表邪が裏に侵入

外邪が直接臓腑を侵襲 ―― 直中(じきちゅう)

臓腑の機能失調

内傷病 ストレス、飲食の不摂生、肉体疲労

	表証	裏証	
病程	急に発病し病程は短い	久病で病程は長い	
寒熱	発熱と悪寒がともに出現	発熱のみ、あるいは畏寒のみ出現	
舌苔	無変化	多変化	
脈	浮	沈	

### 寒熱弁証①寒証かんしょう

寒邪を感受するか、あるいは臓腑の陽気が不足することによって生じる。

人体の機能低下を表す症候

#### 【病因病機】

外感病 寒邪を感受 実寒証

内傷病 久病で陽気を損傷 虚寒証

#### 【症状】

悪寒畏寒(温暖を好む)・口が淡く、口渇せず・顔面蒼白・四肢の冷

え・尿の色は透明で多尿







## 寒熱弁証②熱証 ねつしょう

陽熱の邪(温・暑・火)を感受するか、或いは臓腑の陽気亢盛によって生じる 人体の機能亢進を表す症候

#### 【病因病機】

**外感病 陽熱の邪を感受 ⇨ 臓腑の機能の亢進 実熱証** 

内傷病 ストレス ⇒ 気機鬱滞 実熱証

飲食の不摂生 → 食積停留

房事過度、過労 ⇒ 腎精消耗 虚熱証

久病 ⇒ 陰液消耗

#### 実熱証

発熱(寒冷を好む)・口渇(冷たい物を飲みたがる)・顔面紅潮・目が充血・煩躁

・尿の色が濃く少量・大便燥結・舌紅・苔黄(乾燥)・脈数

#### 虚熱証

五心煩熱・潮熱・微熱・頬骨の辺りが赤くなる・盗汗・口や咽喉が乾燥する

・舌が紅・苔が少ない(乾燥)・脈細数

## 寒熱弁証のまとめ

	寒証	熱証	
寒熱	悪寒 畏寒 (温暖を好む)	発熱 (寒冷を好む)	
顔色	蒼白	紅赤	
手足	冷たい	熱い	
口渇	口渇せず	口渇(冷飲を好む)	
尿	尿の色は透明で、多尿	尿の色は濃く、小尿	
大便泥状便		大便燥結	
舌質 淡、あるいは正常		紅	
舌苔 白		黄	
脈		数	

## 虚実弁証 その①虚証

正気が虚弱 (邪気も盛んでは無い) なことによって出現する症候 【病因病機】

先天不足<br />
早産や高齢出産によって生まれた子供の場合等

後天失養飲食不調、ストレス、肉体疲労、性生活の不節制、老齢

、虚弱体質、多産、虚弱体質、多産、重病、久病

虚証の分類

虚証は、気虚、陽虚、血虚、陰虚に分けられる





## 虚実弁証

### その① 気虚証 (ききょ)



### 【概念】

臓腑の機能低下を表す症候

#### 【症状】

眩暈・呼吸微弱・無気力・疲労倦怠・自汗

・活動時に諸症状悪化・舌淡・脈虚(無力)



めまい



無気力



ダラダラ汗

### 虚実弁証その②陽虚証(ようきょ)



#### 【概念】

臓腑の機能低下の他に温煦失調を表す症候

#### 【症状】

気虚の諸症状+寒がり手足が冷える・ 尿の色は透明で多尿・泥状便 あるいは尿量減少・浮腫 舌淡・脈虚、沈、遅



多尿



泥状便



体の芯から冷える

### 虚実弁証 その③血虚証

### 【概念】



血の不足によって臓腑、経脈が滋養されない ために生じる全身虚弱を表す症候

### 【症状】

顔色蒼白或いは萎黄・唇や爪や色がうすい・眩暈

- ・心悸・不眠・手足のしびれ、舌淡白・脈細
- ・月経失調(過少月経、周期の遅れ、閉経)

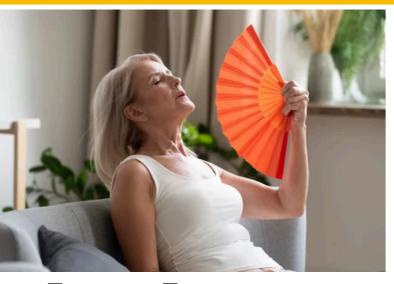






不眠

### 虚実弁証 その④陰虚証



#### 【概念】

陰液不足によって生じる、 全身あるいは臓腑に対する対する濡潤、 滋養機能失調を表す症候

【症状】

体がやせる・眩暈・不眠・口や喉が乾燥・盗汗・五心煩熱・潮熱

- ・微熱・頬骨の辺りが赤くなる・尿の色が濃く、小尿・大便乾燥
- ・舌紅・小苔(乾燥)・脈細数









# 虚証まとめ

	気 虚	陽虚	血虚	陰虚
一般症状	眩暈 呼吸微弱 無気力 疲労倦怠 自汗 活動に諸症状悪化	→気虚の一般症状 + 寒症状 寒がり手足が冷たい (浮腫)	眩暈 顔色が悪い 唇や爪の色が薄い 心悸 不眠 手足の痺れ 月経失調	眩暈 体がやせる 不眠 口や咽喉が乾燥 盗汗、五心煩熱、潮 熱、微熱 頼骨の辺りが紅い
二便		多尿で尿の色は透明 (浮腫の場合は小尿) 泥状便		小尿で尿の色は濃い
舌	舌淡	舌淡	舌淡白	舌紅、少苔(乾燥)
脈	虚(無力)	虚・沈・遅 →微	細	細数
特徴	臓腑の機能低下	臓腑の機能低下 温煦機能失調	血の不足 臓腑、経脈失調	陰液内熱 津液不足

# 実証じっしょう

邪気が盛ん(正気も盛ん)な事を表す症候

【病因病機】

六淫の邪が人体を侵襲

臓腑の機能失調⇒代謝障害⇒痰飲・水湿・瘀血・食積が体内に停留

急激に始まる 病期が短い 症状が激しい 抑えると悪化する(虚按 きょあん)

正気



邪

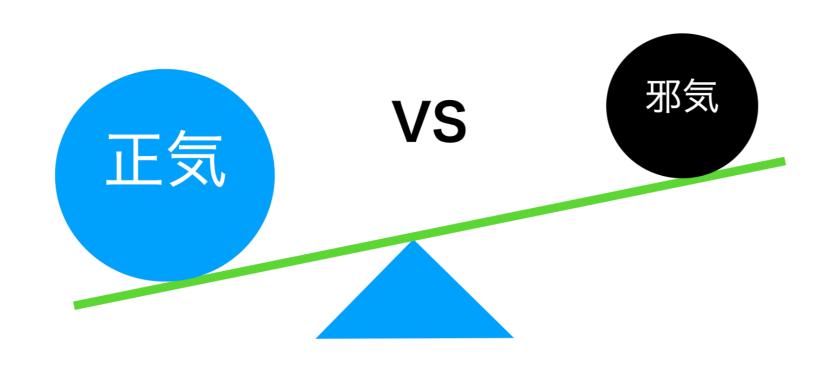
気

# 虚実挟雑(きょうざつ)

#### 【概念】

虚証(正虚)と実証(邪実)が同時に存在する 【成因】

- ①邪が取り除かれないうちに正気が虚してしまう
- ②もともと正気が虚弱な体質のものが新たに邪を感受する





# 他にもこんなパターンが

実証転虚 (じっしょうてんきょ)

本来は実証であるが、病邪が体内に長く留まり正気を損傷することによって、 実証が虚証に転じる。この時実証は消失する

本虚標実 (ほんきょひょうじつ)

本来は虚証であるが、正気不足による代謝障害によって、

実邪(病理産物)を生じる

真実仮虚 (しんじつかきょ)

疾病の本質が実証であるのに反し、虚証に似た仮象が出現する。

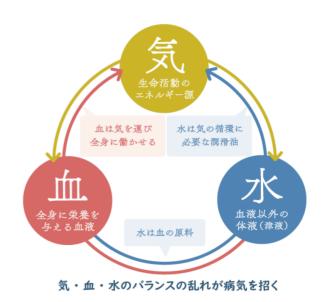
真虚仮実(しんきょかじつ)

疾病の本質が虚証であるのに反し、実証に似た仮象が出現する

### 三つの弁証の説明

①八鋼弁証

表・裏寒・熱虚・実(陰・陽)



②気血津液弁証

体の構成成分である気・血・津液のどれが異常なのか

③臓腑弁証

五臓六腑のどこに異常があるのか



### 収渋薬 (しゅうじゅうやく)

主に収斂固渋の効能をもつ薬物を収渋薬といい、「収斂薬」「固渋薬」とも呼ぶ 収渋薬の大多数は酸味・渋味であり、斂汗・止瀉・固精・縮尿・止帯・止血・止咳

- ・平喘などの効能を持ち、久病体虚・元気不固などによる自汗・盗汗・久瀉・脱肛
- ・早漏・遺尿・頻尿・帯下・出血・崩漏・久咳・などの症候に有効である



# 山茱萸 さんしゅゆ



### ミズキ科のサンシュユの成熟した果肉

性味酸・渋、微温

帰経 肝・腎

#### ①補益肝腎

肝腎不足の腰や膝がだるく無力・めまい・頭のふらつきなどに、

熟地黄・枸杞子・杜仲などと用いる

#### ②渋精縮尿

腎虚による遺精・頻尿・尿失禁・などに、熟地黄・菟絲子・補骨脂・当帰などと使用する

#### ③固経止血

衝任虚損の不正性器出血(崩漏)・月経過多などに、熟地黄・当帰・白芍・烏賊骨などと用いる

#### 4斂汗固脱

虚脱や久病で汗が止まらないときに、竜骨・牡蠣・人参と使用する

## 覆盆子ふくぼんし



バラ科のゴショイチゴの完熟直前の 集合果 性味 甘・酸・微温

帰経 肝・腎

①益腎固精

腎虚のインポテンツ・遺精・早漏などに枸杞子・菟絲子・五味子・補骨脂などと用いる

②益腎縮尿

腎虚の頻尿・遺尿・尿失禁などに、桑螵蛸・益智仁・山茱萸などと使用する。

③その他

明目に働くので、肝腎不足の視力減退にも用いる

# 桑螵蛸 そうひょうしょう



カマキリ科のオオカマキリなどの卵

性味 甘・鹹・平

帰経 肝・腎

補腎助陽・固精縮尿

腎陽不足の遺精・早漏・頻尿・遺尿などに使用する

遺尿・頻尿・尿失禁には、覆盆子・益智仁・金桜子などと用いる

遺精・早漏などには、菟絲子・補骨脂・竜骨・牡蠣などと用いる

## 五味子 ごみし



マツブサ科の チョウセンゴミシの成熟果実 性味 酸・温 帰経 肺・心・腎

①斂肺止咳・定喘

肺虚あるいは肺腎両虚の慢性咳嗽・呼吸困難に党参・麦門冬・熟地黄・山茱萸などと用いる

2固表斂汗

陰虚の盗汗あるいは陽虚の自汗に、白朮・党参・浮小麦・牡蠣などと用いる

3益腎固精

腎虚の遺精・頻尿・尿失禁などに、菟絲子・桑螵蛸・竜骨などと使用する。

4 渋腸止瀉

脾腎陽虚の五更泄瀉(夜明け前の下痢)や慢性の下痢に補骨脂・肉豆蔻などと用いる

⑤益気生津・止渇

気陰両傷の口渇・疲労感・元気がない・動悸などの症候に、人参・麦門冬などと用いる 生脈散・清暑益気湯

# 鳥梅うばい



バラ科のウメの未成熟果実を燻蒸したもの

性味 酸•渋、平

帰経 肺・脾・肺・大腸

①斂肺止咳

肺虚の慢性咳嗽に、杏仁・阿膠などと用いる

②渋腸止瀉

慢性の下痢に、肉豆蔲・蒼朮・茯苓などと用いる

③和胃安蛔

下血・血尿・性器出血などに、烏梅炭を用いる

4固崩止血

虚熱の消渇に、黄耆・麦門冬・葛根などと使用する

⑤生津止渴

温熱病後期の腎陰大虚による消渇に、黄連・麦門冬・生地黄などと用いる

# 肉豆蔲にくずく



ニクズク科のニクズクの成熟種子 (通称 ナツメグ)

性味・温

帰経 脾・胃・大腸

①渋腸止瀉

脾虚寒の慢性の泥状〜水様便や脱肛などに、党参・白朮・乾姜・肉桂などと用いる。

②温中行気

脾胃虚寒の気滞による腹痛・腹満・胃反嘔吐などに、木香・半夏・呉茱萸などと 用いる

## 蓮子れんし



スイレン科のハスの種子

性味 甘・渋、平

帰経 脾・腎・心

①健脾止瀉

脾虚による慢性の泥状~水様便に、茯苓・白朮・山薬などと用いる

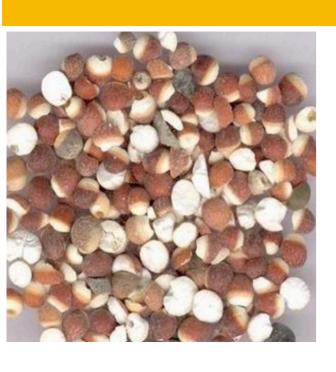
②養心安神

心神不寧の不眠・動悸などに、酸棗仁・遠志・茯苓などと使用する

③益腎固精

腎虚の遺精・不正性器出血・帯下などに、菟絲子・芡実・沙苑子などと用いる

## 英実 けんじつ



スイレン科のオニバスの成熟種子

性味 甘・渋、平

帰経 脾・腎

①健脾止瀉

脾虚の慢性の泥状~水様便に、党参・白朮・茯苓・山薬などと用いる 資生湯

②益腎固精・縮尿

腎虚の遺精・尿失禁などに、金桜子などと使用する金鎖固精丸

③祛湿止帯

湿熱の帯下には、黄柏・車前子などと用いる

# 鳥賊骨うぞくこつ



#### コウイカ科のコウイカなどの甲骨

性味 鹹・渋、微温 帰経 肝・腎

①収斂止血

不正性器出血や月経過多に、茜草などと用いる。虚弱者には黄耆・白朮・党参・阿膠などを配合する

②固精止帯

腎虚の遺精・早漏などに、菟絲子・山茱萸などと用いる。出血性の帯下(赤白帯下)には、

白芷・血余炭などと使用する

③生肌祛湿

湿疹・渗出が多い化膿症・下腿潰瘍などに、単味あるいは石膏なおを配合した粉末を散布する

## 麻黄根 まおうこん



マオウ科のシナマオウの根

性味 情経 肺

①止汗

虚汗に用いる。

気虚の自汗には黄耆・白朮などと、陽虚の自汗には人参・附子などと 陰虚の盗汗には熟地黄・山茱萸などと、

産後の虚汗には当帰・黄耆などとそれぞれ使用する

# 浮小麦ふしょうばく



イネ科のコムギの果実で水中に投じた 時に浮いてくる未成熟なもの

性味 甘、涼

帰経心

①止汗・益気退熱 虚汗に用いる 盗汗には、浮小麦を炒して粉末とし服用する

②退骨蒸 虚熱の骨蒸に、地骨皮などと使用する

## 次回研究会

6月7日 (月) リアル開催 6月8日 (火) zoom開催

19:30開始です